



## 名古屋中ライオンズクラブ会報

- モットー We Serve
- 334複合地区スローガン まごころと愛の奉仕 Serve with Sincerity and Love
- 334-A地区スローガン もういちど ウィ・サーブ

- クラブスローガン 過去から学び、未来への希望を持って ウィサーブ

### 第1215回例会 通常例会

平成26年9月5日(金) 名古屋観光ホテル



L 一柳会長

#### 一柳会長挨拶

冒頭にて、名古屋ホストLCの大会委員長浅野好司、大会副総務のL岡田治朗のご来訪に対する御礼、8月22日の法要例会への出席御礼の言葉がありました。

以降次のようなお話がありました。

- 1) 7月15日～8月11日まで来日したYCE生のアネッタ・カサンドラさんから礼状が届き、委員長L田中博明に翻訳して頂きました。その内容の紹介をします。(紹介：内容は主に、茶の湯体験と徳川園について書かれていた)

L谷口宗清、奥様、若宗匠、お孫様、ご一門のおかげです。また徳川園ではL三浦邦雄夫妻のお世話になり、中クラブならではの活動ができ、感謝しています。

- 2) 会員スピーチとして、できるだけ多くのメンバーにお願いします。中クラブのメンバーは専門知識と豊富な経験を備えたプロフェッショナルの集まりです。その貴重な体験を活用させて頂き、会員の相互理解も深めたいと考えています。
- 3) 家族会として、10月17日に京都の黄檗山萬福寺に参拝します。普茶料理と煎茶の茶の湯体験など、一般参加ではできない企画をしています。楽しみにして下さい。

### Speech L高木 浩

#### 訪日インバウンドセミナーについて

JTB法人営業名古屋支店長であるL高木には、パワーポイントを用いて、訪日外客の動向に付、中部北陸9県を中心として、わかり易く紹介して頂きました。以下はその中身の概要です。

2013年に訪日外客数は過去最高の1,000万を越えました。今年は、7月までで753万であり、昨年度を超えています。台湾、韓国、中国の順ですが、中国が倍増の勢いであり、これに比して韓国が減少傾向にあります。外国関係の悪化に伴うものと考えられます。

伸び率ランキングでみますと、上位から、中国、フィリピン、マレーシアです。米国は15位ですが1割以上の伸びを示しています。韓国の伸率マイナスは、目に付くところです。

中部北陸を見てみますと、宿泊者数は、低迷しており、これは、交通の便から、大阪、東京間を通過してしまうことにあると考えられます。一方、この大阪東京間の京都、(高山・松本)、富士山、箱根はゴールデンルートであり、そのルート中にある中部に宿泊させることが今後の観光戦略の課題と考えられます。

これに対応して、中部北陸9県を「昇龍道」として、知名度向上のための官民挙げたプロジェクトが開始されています。9県が昇龍道として連携することで、観光資源をより効果的にプロモートすることが可能。地域の一体感を高め、ホスピタリティと受け入れ体勢のレベルアップを自ら進める環境をつくる。昇龍道野認知度が高まり、人気の旅行地として、旅行者が増える。などのコンセンサスの下、協力体制が築き上げられつつあります。



L高木 浩

## オールドモナークシェブロン伝達

2015年  
3月分まで

- 30年 L樋口布差雄、L伊藤 天来  
25年 L兼松 俊雄  
20年 L三浦 邦雄、L嶋村 徳之、L尾崎 博明  
15年 L松浦喜多男、L山中 俊祐  
10年 L林 晃雄 L貝出 賢司、L三國 健

## 第1216回例会 ゾーンチェアパーソン訪問例会

平成26年9月19日(金) 12:15~13:30 名古屋観光ホテル

### 名古屋中LC・名古屋栄LC合同例会

名古屋中LC 第1216回例会 名古屋栄LC 第495回例会



1R1Z ゾーン・チェアパーソン L松村 宗哲

司会 L三國 健

名古屋栄LC会長

1. 開会宣言ゴング
2. 国旗に敬礼
3. 君が代、ライオンズヒム斉唱
4. ゲスト、ビジター紹介  
名古屋中LC接待委員長
5. 会長挨拶  
名古屋中LC会長  
食事と歓談
6. スピーチ「ライオンズへの想い」  
L松村 宗哲(名古屋北LC)
7. 幹事・委員会報告  
名古屋中・栄LC
8. テールツイスター登場  
名古屋中・栄LC
9. ドネーションの報告  
名古屋中・栄LC
10. ライオンズローア  
名古屋中・栄LC第一副会長
11. 閉会宣言・ゴング  
名古屋中LC会長

## 第1217回例会 通常例会

平成26年10月3日(金) 名古屋観光ホテル

### Speech 栄献血ルーム事業課推進係長

永田 順人



- ◎赤十字は人道の理念のもと献血を推進しています。
- ◎血液は現段階では、人工的につくれないので、献血が必要です。輸血医療は献血という「命のボランティア」に支えられています。
- ◎少子高齢社会を迎え、特に若い方の協力が不可欠です。(400mL献血・成分献血をお願いしています)

マザー・テレサの言葉

「愛の反対は敵意ではなく、無関心です」

赤十字は、献血の普及とともに、助け合うことの大切さ「人道」を広めています。

### おめでとう誕生日

9月 4日 L尾崎 博明  
10日 L中野 昭夫

10月 8日 L三國 健  
12日 L家田 晃次  
14日 L貝出 賢司



L三國、L家田

11月 1日 L松浦喜多男  
18日 L村松 健次  
26日 L高木 浩

平成26年10月17日(金) 京都府宇治市

## 黄檗山萬福寺



萬福寺三門



開山堂



開版（齋堂前にある魚板で木魚の原形となっている）

8時30分「栄オアシス21」集合。  
土山SA、瀬田東ICを経て、  
黄檗山萬福寺に到着。

萬福寺見学・普茶料理の昼食・  
煎茶体験の後、土山SAを經由し  
て「栄オアシス21」17時頃無事帰  
名した。

## 萬福寺概略

1654年（江戸時代）、中国福  
建省から渡来した隠元禪師が  
後水尾法皇や徳川四代将軍家  
綱公の尊崇を得て、1661年に  
開創された寺院であり、日本  
三禅宗（臨濟・曹洞・黄檗）  
の一つ、黄檗宗の大本山です。  
黄檗宗では、儀式作法は明代  
に制定された仏教儀礼で行わ  
れ、毎日誦まれるお経は黄檗  
唐韻で発音し、中国明代その  
ままの法式梵唄を継承してい  
ます。

建造物は、中国明朝様式を取  
り入れた伽藍配置です。創建  
当初の姿そのままを今日に伝  
える寺院は、日本では他に例  
がなく、現代的な禅宗伽藍建  
築群として、主要建物23棟、  
回廊、額、聯などが国の重要  
文化財に指定されています。





浅井宗務総長のおはなし



普茶料理



煎茶体験

**普茶料理**

普茶料理は、黄檗宗の開祖隠元禅師が中国から伝えた精進料理であります。

普茶とは普く衆に茶を供すると言う意味を示すところから生まれた言葉であります。中国文化の香りがし、日本の山野に生まれた自然の産物を調理し、全ての衆が佛恩に応え報いる為の料理です。

席に上下の隔たりなく一卓に4人が座して和気藹々のうちに料理を残さず食するのが普茶の作法であります。禅宗では五観の偈という厳しい戒律もある事も忘れてはいけないと思います。

素朴、幽遠な禅味のある三百数十年の伝統と風味を味わい、異国情緒漂う境内を散策ください。



**第1219回例会 献血キャンペーン**

平成26年11月7日(金) 10:00~15:30

栄献血ルーム 栄ガスビル前

恒例の献血キャンペーンが、11月7日(金) 栄ガスビル前にて挙行されました。本年度から道路上にテントが設営出来なくなり、参加者が少なくなるかと心配しましたが、いつも通りの参加者があり、ほっとしました。



献血受付数	77名
献血できた方	68名
内	200 mℓ 1名
	400 mℓ 30名
成分	37名
献血できなかった方	8名

